

熊本県大津町工業用水道事業の紹介

○事業の主旨

本工業用水道は、計画給水量3,000m³/日として昭和63年度から平成2年度にかけて計画・実施されものです。しかし、最近では給水量の実績も4,000m³/日になり、将来的には水量・水圧不足による安定供給が十分できなくなる恐れも懸念される。

よって、本計画では下水道事業との排水計画の調整を図り、計画給水量を5,000m³/日として、水源を新たに開発し、配水管等の施設設備を行い、本工業用水道事業拡張を計画し、同時に既存企業への給水の安定を図るものである。

○事業の経緯

熊本県は、高度技術工業集積地域開発促進法に基づき、産、学、行政連携のもと、大津町を含む熊本市を母都市とする「テクノポリス」の建設を進めてまいりました。

熊本県と地域整備公団は、このテクノポリス計画による「テクノ回廊」のほぼ中央に位置する大津町に「熊本中核工業団地」を建設しました。

大津町は、この熊本中核工業団地へ工業用水を供給するため、昭和63年度から、産業の振興を図り、また公共の福祉の増進を図るため、国、県の補助を受け事業に着手し、地方公営企業法に基づく公営工業用水道として「大津町工業用水道事業」を行い、平成2年度より給水を行っています。

○工業用水道施設の概要

大津町工業用水道事業は、「熊本テクノポリス計画」において地域振興整備公団と熊本県により熊本中核工業団地が計画され、同工業団地への立地計画に対する工業用水の供給を目的として昭和63年に事業着手し、平成2年10月に給水開始をしております。

水源は、地下水で計画給水量を4,000m³/日、第1水源地1,700m³/日、第2水源地1,300m³/日、また、平成19年度からは第3水源地1,000m³/日の給水を開始して、企業への安定供給を行っています。

配水量は、平成19年4月からは、9企業へ1日の契

約水量3,745立方メートルです。

契約基本料（日量最低50m³）は1立方メートル当たり45円、超過料金90円となっています。

○ユーザーの概要

（平成20年4月現在）

業種	契約水量	
シリコンウエハー再生	2,600	m ³ /日
半導体・電子製造	136	m ³ /日
印刷・製造	50	m ³ /日
半導体製造装置	130	m ³ /日
半導体検査装置	50	m ³ /日
半導体部品製造	340	m ³ /日
I Cリードフレーム	295	m ³ /日
金属製品	50	m ³ /日
食品・薬品（供給予定）	100	m ³ /日
合計	3,745	m ³ /日

○事業の特徴

本町は、熊本都市圏に位置し本田技研工業など多くの企業を有しており、熊本空港や熊本I.C.にも近く、国内はもとより近接するアジア地域をはじめ世界に向けた産業・交流拠点とした町です。

工業用水道は、熊本テクノポリス計画により整備された熊本中核工業団地に供給しております。現在3つの水源地を有し、日量4,000m³の安定供給を目指しております。

